

銀漢亭日録



伊藤伊那男

10月22日(火) ▼祝賀の祝日ながら予約を入れたので店、開くこととする。「萩句会」選句。あと、暇ではないか、と気遣ってくれて七人店に寄って下さる。「ひまわり句会」後八人。大阪の山内節子(「運河」)、「主人の山内蔭彦さん来店。節子さんとは大阪の講演会でお会いした。お孫さんの七五三で上京と。」

23日(水) ▼「難句会」十一人。井蛙さん「パティオ」主宰の環さん、片岡さん、「井月忌俳句大会」のちらし、過去の出席者宛郵送作業をして下さる。

24日(木) ▼十一時、代々木上原駅。新谷房子さんと待ち合わせ。近くの喫茶店にて句集についての打ち合わせ。一時間ほど。店、佐藤宏之助さん、近々、句集上梓と。「樸」の種谷良二さん久々。

25日(金) ▼新幹線予約時間に乗り遅れ、次で追いかけて名古屋にて皆川丈人、文弘さん、井蛙さんと合流し近鉄で伊勢市駅。「若柳」へ直行。牛ヒレの網焼きを堪能する。河崎地区の勢田川沿いの商業街へ行き、「河崎商人館」を見学。その頃から雨上がる。十六時半、古市の「麻吉旅館」へ入る。江戸時代から続く遊郭跡に残る旅館。「伊勢古市参宮街道資料館」などを散策。「麻吉旅館」は傾斜を利用した五層の建物で、最上階の部屋を用意して下さる。食事は街道の上の渡り廊下の先の離れ。おとなしい料理ながら滋味あり。若布のぬた、刺身(鰻、鯛)、さざえ煮、あおさと青柳の茶碗蒸、鱈煮、伊賀牛焼、がんもどきの八丁味噌汁、ゆづくり休む。

26日(土) ▼朝熊山が美しい。タクシーで伊勢神宮神宮会館。荷物を置き、おかげ横丁、おほらい町などを散策。干物屋から店へ、さめのたれ、にぎすなど送る。豚捨のコロッケ、キュウリスティック、赤福など買い食い昼食。昼、神宮会館に五十三名集合。河合真如先生もお越し下さり、内宮へ向けて出発。河合先生の説明で常の参拝とは全く違う知識を受ける。約二時間参拝し、猿田彦神社組、お

はらい町散策組と分けて自由時間。皆川さん二名、禪次、河合先生と「蕎麦切り才屋」へ。小酌す。この店、私の娘婿が伊勢撮影時に事務所替わりにしていたことが後で別れる。贈呈写真が飾つてあり、聞くに懐かしくなってきた。皆と別れて、立ち飲み「白鷹三宅商店」。唐沢、井蛙さんも合流し、小酌。十八時、五句出句会。十九時より宴会、あと私の部屋に十人程集まり酒盛り。

27日(日) ▼さすがに二日酔い。八時半、バス二台にて出発。外宮で河合先生とのお会いして案内を受ける。寝地蔵石。そのあと朝熊山金剛證寺、二見興玉神社。「ホテル清海」にて昼食後、河合先生の講演「伊勢神宮と日本文化」をお聞きする。「神宮徴古館」を一時ほど拝観し、宇治山田駅にて解散する。近鉄特急のサロンカーで打上げの酒盛り。新幹線では眠りこけて東京へ。二十二時帰宅しそのまま倒れるように寝る。

28日(月) ▼選句急がねば！店、「玉藻」の矢野さん。池田のりやさん、「聞句会」七人。毎日新聞今井竜さん三人。SNSアプリ「俳句ふてふ」で「銀漢」とのコラボの提案を受ける。峯尾文世、阪西敦子さん。

29日(火) ▼「あ・ん・ど・うクリニック」で高血圧の薬貰う。インフルエンザの予防注射。店、「未来図」の本田さん他三人。硯児さんと篆刻家の松尾碩甫さん、水内慶太さんの印の受け渡し。碩甫さん俳句に興味あるとて「銀漢」の入会手続き。

30日(水) ▼選句追い込み。開店前ギリギリに店。「週刊金曜日」の伊達さん他。清人さん、アルミさん夫婦。

31日(木) ▼首里城炎上のニュースが目覚める。四、五回は訪ねている私の好きな場所……。店、閑散。

11月2日(土) ▼「大倉句会」八周年記念句会。清人さん、鮎、生牡蠣、つぶ貝など大量に持ち込み。仙台の信一さんから「利久」の牛舌も。参加者の方々も酒その他の持ち込み。松山、洋酔、のりをさんがゲストで。十三時半から十八時まで。三十数名の宴会。

3日(日) ▼昨日の酒残る……。午後、「春耕同人句会」で中野サンブラザ。五十数名。久々、棚山主宰にお目に見え。あと「炙谷」にて親睦会。酒は少々とする。というか飲めない。一軒で帰宅して、二十時過ぎから寝る。

4日(月) ▼振替休日。六時起床。久々、十時間寝たか。講演会の資料作り。「俳句aあるふあ」の料理三種のエッセイとレシビの原稿、俳人協会の全国俳句大会選考会の発言記録の校正、「銀漢賞」「星雲賞」の一次選考を秋葉男さんへ送付。十二月号「彗星集」の選句、選評を美紗さんに送る。新谷房子さんの句集序文の構想……など一日シャカリキの執筆。夜、成城仲間の家の夕食会に誘われたが、机から動かず。今日は酒を抜く。

5日(火) ▼新谷さん句集序文案を武田さんにFAX。手持ちの懸案一掃と思ったら、朝日カルチャー千葉大会の応募句六百数十句が届く。月末の講演の用意もしないと……。店、広渡敬雄さんの九大仲間四人。あと閑散。二十時半、閉める。

6日(水) ▼朝日カルチャーセンター千葉教室の講演会資料作り。店「ささらぎ句会」あと六人。「宙句会」あと九人。まほさんから信州中川村の酒「今錦」……懐かしい。高部務さん新刊「あの人は今」出版。届けて下さる。

7日(木) ▼店、近江文代さんと父上の「野火」主宰菅野孝夫さん。五日市さんと鉄鋼新聞社の後藤記者。「十六夜句会」あと九人。何かや繁忙。

8日(金) ▼午前中、「銀漢賞」の選考作業。千葉の講演会の資料。店、京都の飯屋賢一さん来京とて、西村麒麟さんの声掛けて四ツ谷龍さん、鴨田智哉さん他、若手俳人十数名来店。

9日(土) ▼十時、発行所にて運営委員会。「大戸屋」で牡蠣フライ昼食。十三時、麹町会館にて「銀漢本部句会」五十六人。あと珈琲館にて「銀漢賞」の一次選考会。大和、禪次、眞理子。作品を絞る。あと中華料理店の親睦会に合流。

10日(日) ▼千葉の講演会の資料作り。十六時半、鈴木てる緒さん宅。食事会に招かれる。展枝、いづみさん同道。フルコースを堪能。二十二時半辞す。

11日(月) ▼今日、朝日カルチャーセンター千葉教室の大会の選句締め切りであることに気が付き、選句。FAX送付。店、相沢文子さんと六花ちゃん。麻里伊、中村十朗さん。飯田冬真、篠崎央子さん。阪西敦子さん。「かさ、ぎ俳句勉強会」あと七人。皆川文弘さんより伊勢のお礼として東北の銘酒五本到来。

12日(火) ▼超結社「火の会」十二人。今日は私の句好調。寺澤一雄、阪西敦子、広渡詩乃、宇志やまと、広渡敬雄、峯尾文世、太田うさぎ、卓田謙一、天野小石、竹内宗一郎、佐怒賀直美、新八さん。発行所、編集会議のあと編集長、馬場龍吉さん他。

13日(水) ▼発行所「梶の葉句会」選句。店、客無し。十九時半、閉めて帰宅。家で食事。近隣の店「本日鶏唐揚げ食べ放題100円」とか「ハイボール100円」とかひどい状態。

14日(木) ▼店、松山の結社「樸」の種谷良二さんが江崎紀和子先生の手紙持参。来年十月の年次総会の講師依頼を受ける。発行所「極句会」あと店に十六人。新しい人も増えている。ゲストに禪次、直さん。皆川文弘さん。

15日(金) ▼店「薦句会」六人。あと「聞句会」七人。明石在住で「青垣」の石井清吾さん来店。今年の「俳壇賞」受賞(発表は来月号か)。そこへ西村麒麟さん来店。今年の「角川賞」と「俳壇賞」作家が偶然、銀漢亭へ来るという！面白さ。

16日(土) ▼十二時二十分、日暮里の本行寺にて「茶・山頭火俳句大会」。志乃多寿司の弁当戴き、約六百句の当日句の選句。大会あと、「又一順」にて加茂住職のお招きで打上げ会。あと水内慶太さんのお話しで亀戸の「すし屋の弥助」へ。銀漢の仲間を誘って下さり、八人程。こうばこ蟹など、御馳走。あとカラオケスナックでシャンパン、ウイスキー。歌う。やつてしまった……。